



面談を終えて

さくら・ぼら

お忙しい中、面談に来てくださってありがとうございました。子どもたちの様子だったり、成長した話だったり。なによりも、今回の面談を通して理解し合ったことを、保育園、ご家庭での、これからの子どもたちの成長に繋がるよう、活かしていくことが大切だと感じました。

さくら

さくら組は日々の様子を始め、就学に向けての取り組みについて保護者の方と話し合うことができました。「就学前を前に、不安なことはありますか？」の質問に、お友達関係や、勉強についていけるかなどの不安が見られました。そんな中、就学に向けて今一度見直しましょうと確認したのは基本的な生活習慣です。面談の中でも、「つつい、夜遅くまで起きてしまうことがある」や「就寝時間が遅いため、朝起きる時間が遅くなってしまう」など生活習慣についての反省がありました。毎日の寝る時間や起きる時間、ご飯の時間は決まっていますでしょうか。当たり前のことですが、毎日の生活を身につけることは大切です。同じ時間に同じことをする、それを毎日繰り返すことで、子どもたちは、生活の流れを理解することが出来るようになり、見通しを持つことが出来ます。次第に何をしないといけないか、大人から言われなくても、自分で考えて動くことが出来るようになるのでは、とこれからのことを確認しました。

見通しを持てる生活の中で、子どもたちが意識し始めるのが“時間”です。保育園でも毎日同じ時間にお片付けをしているので、「長い針が5（25分）になったらお片付けだよ」の言葉掛けに、自分たちでチラチラと時計を読もうとする姿が見られるようになりました。決まった時間に行うということは、時間を守る大切さにも繋がっていきます。その生活の基盤を作っていくのは、私達大人だということを確認し合いました。

また、絵本の読み聞かせや子どもの話を聞くなど、子どもと向き合う時間を毎日の中で取り入れ、スキンシップを大切にしたいとおっしゃる保護者の方もいました。

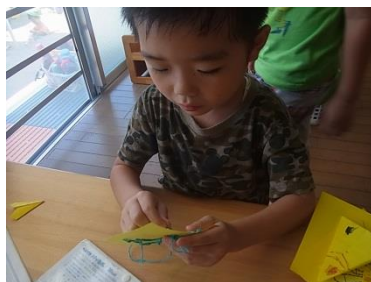
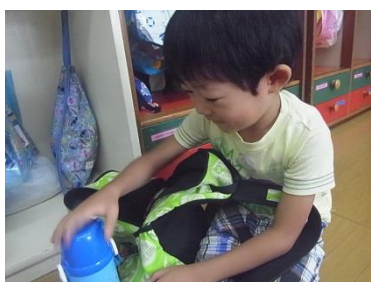
※さくら組は、就学に向けて9月から週に1回午睡をせずに過ごします。スイミングがある火曜日を予定しています。子どもの様子を見ながら曜日は検討しますので、ご家庭での様子もお知らせを下さい。就寝時間などご配慮お願い致します。



ばら

ばら組の面談では、保育園でのお友達との関わりや、ご家庭での様子を主に話し合うことができました。その中で、「他のことがやりたくて、後回しに…」「保育園ではしているが、お家では言われないとしない」というご家庭での様子がありました。ばら組の年齢になると、身の周りのことは自分で出来るようになり、今何をしないといけないかは自分でわかっています。「今行うべきこと」「危険な事」など自己コントロールが形成される時です。「～をなささい」と言われて行う時と、「自分で考えて行動した時」の気持ちの違いを重ねることによって自己コントロールは形成されるのかもしれませんが、出来たときの喜びに子どもたちは達成感を感じます。「自分で考えて出来た」積み重ねが自立へ、そして責任を伴った自由獲得へとつながっていくのでしょうか。

お子さんに“何を大切に生きてほしいか”はそれぞれ異なると思います。保育園は生活の場であり、教育の場です。子どもたちにとって家庭のような雰囲気も大切にしようと、こひつじ保育園は取り組んでいます。ご家族が生活されているご家庭には決して変わるものではありません。子どもの生活の基盤は、あくまでご家庭です。どのような生活環境を作っていくかはご家族で話合われ、そのためには“どのようにするのか”を具体的にご家庭、保育園での子どもの様子を見ながら伝え合い話していけたらと改めて感じました。



お知らせ

毎週金曜日に絵画教室が行われており、絵の具を使ったペイントを楽しんでいます。今までは水着で取り組んでいましたが、プールが終了しましたら（気温が高いため、9月に入ってもプールを継続することを考えています。プールを終了する場合は、事前にノートでお知らせ致します。）週の始めに“汚れてもいい洋服”Tシャツとズボンを袋に入れて持たせて下さい。その際に、子どもと一緒にご用意をされて、子どもが、「絵画用の洋服」と把握できているようお願いいたします。絵画は3グループでまわして行っているため、毎週ではありませんが、使用したら持ち帰ります。持ち帰った際には、また補充をお願い致します。（洋服は、時間の都合で汚れを落とす時と、そのままの日とあるかもしれません。すみませんがご了承ください。）